

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 5月14日

【評価実施概要】

事業所番号	2970102295
法人名	ホームケア株式会社
事業所名	ホームケア学園北
所在地	奈良市学園朝日町6-11-1 (電話) 0742-52-8558
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成 21年 5月 14日

【情報提供票より】(21年4月27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 7月 10日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	10 人 常勤 4人, 非常勤 6人, 常勤換算 5.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り 2階建ての 1階 ~ 2階部分
------	-------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	68,100 円	その他の経費(月額)	19,750 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000 円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	600 円
	夕食	700 円	おやつ	円
または1日当たり 円				

(4) 利用者の概要(4月27日現在)

利用者人数	8名	男性	3名	女性	5名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	2名	要介護4	4名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 76.9 歳	最低	66 歳	最高	88 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人平和会 吉田病院、医療法人平和会 あやめ池診療所
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、奈良市西部の主要私鉄駅から徒歩で10分というアクセスに恵まれた、住宅地にあります。道路からのアプローチは5メートルくらい、和風の竹垣と植栽がマッチした玄関へと続きます。民家を改装した室内は、自然の光とホームの畑から運ばれるさわやかな風に包まれています。入居者の思いに寄り添った職員の優しい眼差しに包まれて、居室に接するリビングで、歌ったり、体操をしたり、また、外出して、個性を發揮しながら思い思いの時間を過ごされています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域密着型サービスとして、地域との交流に取る組む必要性を理解し、昨年は地蔵盆に参加するなど、一歩を踏み出されています。開設して6年目を迎えたホームとして、「町内会」の活動への参加を足がかりに、更にもう一歩二歩踏み出されるよう期待いたします。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義について、管理者・職員共に理解して取り組まれています。課題についてはカンファレンス等で検討し、改善のために努力されています。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議では、入居者の日頃の様子を報告したり、会議の意義などを説明されています。参加者からの意見は、カンファレンス等で話し合い、サービス向上に活かすよう努力されています。なお、運営推進会議の役割と意義を十分に理解し、地域住民や行政職員、地域包括支援センター等、幅広い立場の人に参加してもらえるよう、積極的な働きかけをされることを期待します。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>運営推進会議にも参加を勧め、気軽に意見や希望を出してもらい、運営に反映されています。また、面会時や電話などで、家族の要望を聞くように努められています。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩や外出の折に挨拶を交わすなど、地域の人や子ども達と触れ合う機会をもたれています。なお、町内会に加入し、地蔵盆に参加されていますが、総会や掃除などには、まだ参加されていないので、ともに暮らす地域住民の一員として、地域で必要とされる活動や役割を担う取り組みが期待されます。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の地域密着型サービスとしての理念を掲げられていますが、ホームとして地域の中でどう入居者の暮らしを支えていくのかという、ホーム独自の理念は作成されていません。	○	ホームの理念は、そのホームが目指すサービスのあり方を端的に示したものであり、そのホームにおいて地域や入居者のニーズ、ホームの状況等の現状に合ったホーム独自の理念づくりが期待されます。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カンファレンスや意見交換を行い、理念を共有されています。また、管理者と職員が協力し、理念の徹底と実践に向けて日々取り組まれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩や外出の折に挨拶を交わすなど、地域の人や子ども達と触れ合う機会をもたれています。	○	町内会に加入し、地藏盆に参加されていますが、総会や掃除などには、まだ参加されていないので、ともに暮らす地域住民の一員として、地域で必要とされる活動や役割を担う取り組みが期待されます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義について、管理者・職員共に理解して取り組まれています。課題についてはカンファレンス等で検討し、改善のために努力されています。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、入居者の日頃の様子を報告したり、会議の意義などを説明されています。しかし、地域・行政からの参加がなく、職員と家族、入居者のみが参加されています。参加者からの意見は、カンファレンス等で話し合い、サービス向上に活かすよう努力されています。	○	運営推進会議の役割と意義を十分に理解し、地域住民や行政職員、地域包括支援センター等、幅広い立場の人に参加してもらえるよう、積極的な働きかけをされることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	本社の担当者が、市の担当者と連絡をとられています。	○	ホームの運営や入居者の課題解決等のためには市の理解や支援が必要と考えますので、ホームと市担当者の関係づくりを積極的に行い、協働関係を継続されるよう期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的には、請求書の送付時に、写真をとりに来た「ホームだより」と、行事などの写真を同封し、報告されています。また、面会時や電話でも個別の状況を報告し、体調の変化があれば、その都度連絡されています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にも参加を勧め、気軽に意見や希望を出してもらい、運営に反映されています。また、面会時や電話などで、家族の要望を聞くように努められています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者が馴染みの職員による支援を受けられるよう、異動を最小限に抑え、常勤者の比率を増やすなど、職員が定着するよう努力されています。また、新しい職員への研修や、現任職員との連携体制を充実させることで、入居者へのダメージを防ぐ取り組みをされています。	○	5年余りの期間に、管理者が5回交代されています。入居者にとっては馴染みの関係が大切ですから、管理者が定着されるよう期待します。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回「本社研修」で、制度やケア技術、医療知識などの研修を受ける機会をもたれています。外部研修は、管理者などのリーダーに限られていますが、職員会議で「伝達研修」をもたれています。	○	職員が、個々の段階に応じた研修の機会を確保できるよう研修計画を作成されていかがでしょうか。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社内研修の折に、同法人の他のホームの職員と交流されています。また、県主催の認知症研修の機会に外部と交流されています。	○	サービスの質の向上を目指して、近隣にある他のグループホームと交流されてはいかがでしょう。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前の家族面談や家庭訪問で、馴染みの関係作りに努められています。希望があれば、本人にホームで入居者と一緒に過ごしてもらい、スムーズにホームの生活に馴染めるような取り組みをされています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の苦しみ、不安、喜び等の把握に努め、暮らしの中で分かち合い、喜怒哀楽を共にされています。日々、入居者からのやさしい声かけに、スタッフが支えられていると思える場面があります。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々のかかわりの中で、声かけ、把握に努められています。言葉や表情からその意思を測り、それとなく確認されています。困難な方には、生活歴を参考にして、職員間で本人の視点に立って意見交換し、本人本位に検討されています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人と家族の意向や希望、状態を把握するとともに、提携医や看護師の意見を聞き、複数のスタッフが参加して検討し、介護計画作成をされています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>半年毎に定期的に見直しされている他、状態変化があった時は、必要に応じて医師や看護師のアドバイスを受けて、新たな介護計画作成をされています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	お寺への参拝、買い物、以前利用していたデイサービス事業所の訪問など、入居者の要望に応じて、柔軟に支援されています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの協力医療機関での定期受診(往診)の他、希望により家族と共に入居前からのかかりつけ医の受診を継続されている入居者もあります。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「重度化指針」を作成されています。職員は、その仕組みと意義を理解し、状況に応じて、家族、本人、協力医療機関、看護師と情報を共有し、支援体制について意思統一されています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者への言葉かけや声のトーンなど、一人ひとりのプライバシーと尊厳に配慮した対応をされています。また、個人情報は、所定のロッカーに保管されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはありますが、個々の入居者の様子に合わせて過ごせるよう、入居者の生活ペースを尊重した支援をされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳、下膳、洗い物など、それぞれの入居者が力を発揮されています。職員と会話しながら和やかな食事時間を過ごされています。また、希望献立を取り入れて、買い物を一緒に行く機会ももたれています。	○	職員は弁当を持参されていますが、入居者と職員が同じ食卓を囲んで同じものを楽しく食べることの意義を理解し、その実現に向けて検討されることを期待します。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間は夕食前後に設定されていますが、入居者の習慣に沿って、その日の体調や気分に合わせて清拭や足浴も行うなど、柔軟に支援されています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	体操、歌、食事の手伝い、洗濯の手伝い、花の水遣り、買い物など、入居者の好みや生活歴を活かして、楽しみながら役割を發揮できるよう支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望や体調に合わせて、散歩、買い物、ホームの畑での外気浴など、閉じこもらない生活の支援をされています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアについて、管理者も職員も十分に理解し、門扉、玄関には鍵がかかっています。職員の見守りのケアにより、入居者の自由な暮らしを支援されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム内の避難訓練は年2回実施されています。	○	災害時における職員だけの誘導の限界を踏まえ、地域にホームの取り組みを理解してもらい、今後の協体制作りへと進められるよう望みます。また、水や食料などの備蓄についても、準備されるよう期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養摂取や水分確保についてはきちんと記録されています。また、常時お茶の補給ができるよう支援されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関まわりは竹垣風で植栽は和の雰囲気です。リビングの中心に明り取りがあり、掃きだし口から心地よい風がホーム内を駆け巡ります。トイレ、浴室も適度の広さで、共用空間は全体としてコンパクトで居心地のよい場所となっています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、チェストや収納ケースなど、馴染みの家具を持ち込まれ、壁には家族の写真や手づくりの作品を飾るなど、入居者が居心地よく過ごせるよう工夫されています。		